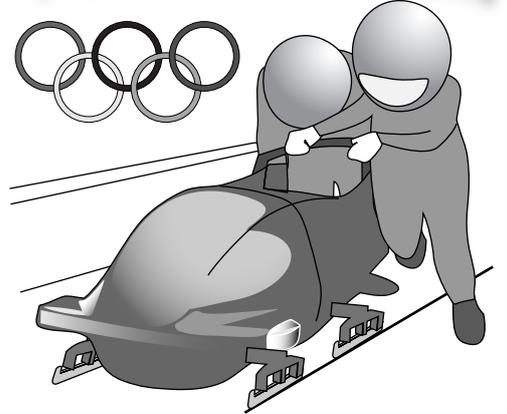


皆さん、こんにちは! いかがお過ごしですか?  
津谷歯科医院、院長の津谷良です。

前号では非歯原性歯痛(ひしげんせいしつう)という、「歯が原因ではないけれど歯が痛くなる」ものとして、「顔の筋肉」と「上顎洞炎(蓄膿症)」をご紹介しました。今月も引き続き「歯の痛み③」として、非歯原性歯痛が生じる「頭痛」と「三叉(さんさ)神経痛」を取り上げてみたいと思います。三叉神経は脳神経の中で最も大きく、口腔、鼻、目等顔全体の感覚(痛い、冷たい、熱い、触った等)を伝える働きをしています。目、上顎、下顎の3方向に枝分かれしているので、三叉神経が何らかの理由で障害を受けると、歯の周辺に痛みが出ることもあります。また歯の痛みの原因がよくわからない「非定型性歯痛(ひていけいしつう)」というものもご紹介しておきます。

ソチオリンピック 2014

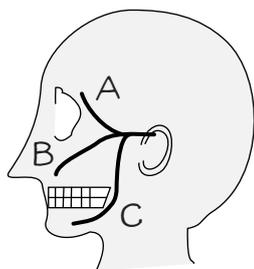


### 👉 頭痛が原因の歯痛

片頭痛・群発頭痛・・・片頭痛は女性に多く1~2回/月位の頻度で発作的に起こるのが特徴で、吐き気を伴い、寝込んでしまうこともある頭痛です。歯に痛みを訴えるケースがあります。

一方、群発頭痛は男性に多く、頭痛が起こる時期と起こらない時期を1~2年毎に繰り返し、頭痛でありながら、症状は「目の奥から上の奥歯にかけての激痛」と自覚されることが多いため、3~5割の患者さんは歯痛と勘違いして歯科を受診します。どちらの頭痛も、何らかのきっかけで一時的に頭部の血管が拡張して、上顎や下顎方面の三叉神経(②や③の箇所)を刺激することが主な原因と考えられています。また完全には原因解明されていません。

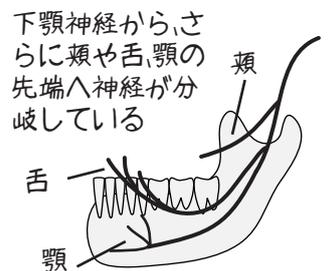
神経内科や脳外科等で精査が必要で、薬剤や酸素吸入等による治療となります。



三叉神経は、A 眼神経 B 上顎神経 C 下顎神経の3つに枝分かれして顔の感覚を伝えている

### 👉 神経障害が原因の歯痛

三叉神経痛・・・三叉神経に沿って、顔にピリピリという痛みを感じる疾患です。三叉神経の上顎や下顎神経に障害がある時に、食事の時に咀嚼すると痛い、歯みがきの時にある歯の周囲を触ると痛い等の訴えが多いです。三叉神経痛の原因は、脳内で血管又は腫瘍が三叉神経を圧迫して、三叉神経の電気信号が脳へ正しく伝わらなくなっているからです。脳神経外科で精査が必要で、薬剤や手術による治療となります。



### 👉 非定型性歯痛

歯の痛みの原因がわからないものを非定型歯痛と呼びます。ストレスによって歯の周りの血管が充血する精神的ストレス説や、過去に歯科治療を受けたことで、歯から脳へ痛みを伝える神経が混乱してしまう神経因性説などが原因ではないかと考えられています。歯がないのに痛みを訴えるケースもあり、病態や原因がはっきりしていません。

## ◆ 歯が原因でない歯の痛みは他の診療科での検査・診断が必要な場合があります ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 🐟🐟🐟🐟🐟

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

## 津谷歯科医院

診療時間	9:00~12:30/14:00~18:30 (土曜日は16:30まで)
診療科目	歯科 小児歯科
休診日	木曜・日曜・祝祭日
院長	津谷 良
	岡山市中区海吉 1807-14